

もっと学び、経験を重ね、 いろんなことにチャレンジ



土木建築は
人のためになる!

久保田美佐子

MISAKO KUBOTA #43

株式会社 柏崎組
建築部建築課 現場サポート



平成27年、株式会社柏崎組入社。住宅事業部でコーディネーター業務を経て、平成30年建築部へ。現在、コーディネーター業務と現場サポートを行う。これまでに取得した資格は、危険物取扱者乙種4類、ライティングコーディネーター、住空間収納プランナー、日本損害保険募集人資格(基礎単位、自動車保険、火災保険、損害疾病保険)、2018年11月2日建設ICT総合研修修了。

DATA

株式会社 柏崎組
青森県上北郡おいらせ町立蛇71
tel. 0178-50-6511
<https://www.kashiwazakigumi.co.jp/>



ものづくりが大好きで土木建築の道へ



工事の看板をデザイン

子どもの頃好きだったことを、仕事にするのは容易なことではありませんが、ずっと思い描いていた「ものづくり」の仕事に、様々な経験を経て挑戦している人、それが株式会社柏崎組の久保田美佐子さんです。

現場事務所での事務処理から、測量の手伝い、看板のデザイン、ドローン操作など、どんな仕事も前向きに取り組んでいます。

久保田さんが働く柏崎組は、創業明治36年。官公庁をメインに土木建築工事一式を請負う老舗の総合建設業だ。事務員として採用した彼女の経歴と意欲に、やりたいことがあれば、どんどんチャレンジして欲しいという会社の想いがマッチングした。

十和田市出身の久保田さんは、当初、建設業とは無縁の、事務員、接客、販売員などを経て現職へ。「けれど、やっぱりものづくりが好きで、デザイン制作会社への就職を機に、空間のデザインに興味を持ち工務店へ。念願の設計工務店で、コーディネーターとして住宅のクロスや照明、カーテンなどを提案していたのですが、多忙を極めドクターストップがかかって、やむなく退職。体調も良くなった3年前、工務店勤務時代にかかっていた『工務店女子会』の縁で声がかかり、この会社に就職しました」

本当なら隠しておきたい話も、さらりと言える前向きさや目標に向かっていく姿に人柄を感じます。



柏崎組ではまず住宅事業部に配属となり、一般住宅建築の打ち合わせ、パソコンを使って設計するCADデータの修正、提案するプレゼンボードの作成、かつて行っていた内装の提案を2年くらい続けました。そして組織改革により、この春から建築部所属となり、現場サポートに挑んでいます。

やりがいがあります!現場の仕事!!

現在の業務内容は「現場監督が作成する完成書類のサポートから、現場での測量補助、デザインソフトを使い、現場の看板のデザイン制作と設置、社内新聞の制作、そして、会社や現場事務所に誰が来ても気持ちいいよう、整理整頓を行っています」と話す。ともすれば汚いと思われるがちな現場をきれいにし、誰もが働きやすい環境整備を心がけています。

「今は百石中学校の講堂改築工事に携わっているのですが、仕事がとても楽しいんです。たくさんの人に利用してもらえるスケールの大きい仕事は、やりがいがあります。作業日報、安全の書類作成といっても実際現場に行かないとわからないので、進捗状況に合わせて現場に足を運び、自分がこれまで経験してきたことを活かして働く。体を動かすのも好きだから、測量業務も覚えたい」と、目標に向かっていく久保田さん。

「大変だったこと?う〜ん、誰もがみんなやさしく教えてくれるので、無いですね。すべてがいい経験です。先日、建設ICT総合研修に、秋田へ行かせてもらいました。ITを用いてデータを重機に送信すると自動で重機が動くシステムなのですが、その操作を行ったり、ドローンで測量したものを3D化し、のり面の細かい数字の算出方法など、どれも興味深い内容でした」と、常に進化を遂げる建築の仕事に興味津々。



看板のデザインを出力



柱などの位置や高さの基準となる水平線を標示する「やりかた」作業



熟練オペレーターの操作を、機械が自動的に再現する「ICT建機」の操作実習

ドローン操作の資格取得をめざします!!

どんな研修にも参加させてもらえる会社で、ご主人をはじめ、家族も応援してくれ、プライベートも充実しているという久保田さん。趣味はものづくりで、ミシンを使ってカーテンやクッションカバーなど、自分の思い通りのものを作ったり、デコレーションしてみたり、木材への塗装も楽しんでいます。

この仕事に就いてよかったと思うのは「日々学びがあり、いつもワクワクしながら仕事ができること。現在、UAV(無人航空機、ドローン)の国土交通省飛行許可・承認を取得するため、飛行訓練を重ねているんですよ。また、上司や業者の方から「サポート

してくれてありがとう」と言われると、やっぱり嬉しいですね」とほぼ笑む姿がとてもチャーミングです。

男社会と思われがちな現場でも、「ものごとを素直に受け止める謙虚な姿勢があれば乗り切れます。土木建築は、多くの人のために役立つ、喜ばれる仕事。ものづくりが好きなら、仕事に魅力を感じることができます。ぜひぜひ勇気を持って、この世界に飛び込んで来て欲しい」次世代の学生に力いっぱいエールを送る姿が、とてもまぶしくきらめいていました。

ひとことメッセージ

株式会社柏崎組 取締役総務部長 保土沢順一



今の時代、工業高校を卒業し、ある程度専門知識のある人を採用するのは難しい。だったら様々なことを経て、事務として入社した彼女をモデルにしようと思いました。久保田さんは積極性がある最高の社員です。細かいことに気づき、彼女が来てから会社がきれいになりました。

当社では、経験がなくても、資格がなくても、やる気があればサポートします。女性はもちろん、春からは普通高校の生徒も採用する予定です。ここは、自分がやりたいと思えば何でも挑戦できる会社です。興味があったら、まずは会社に遊びに来て下さい!